

2022年4～6月期四半期別GDP速報（1次速報値）

Quarterly Estimates of GDP for April - June 2022 (First Preliminary Estimates)

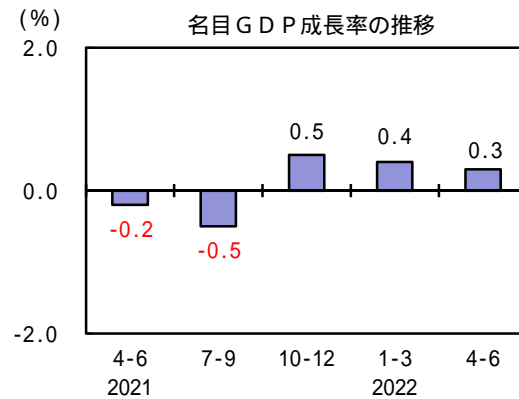
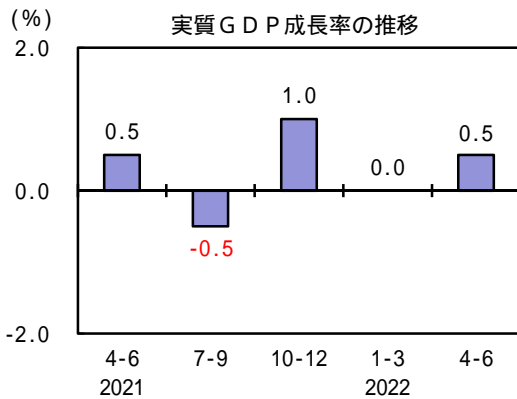
令和4年8月15日
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部

国内総生産（支出側）及び各需要項目 GDP (Expenditure Approach) and Its Components

1. ポイント Main Points (Japanese)

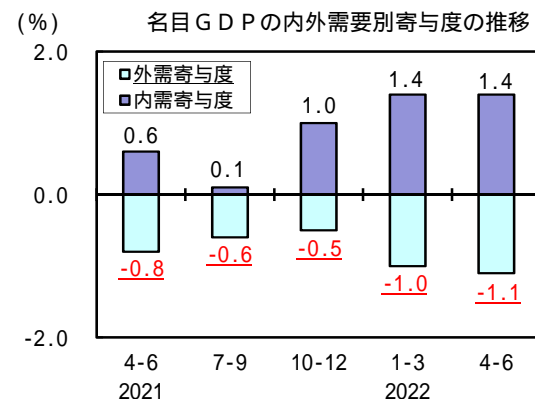
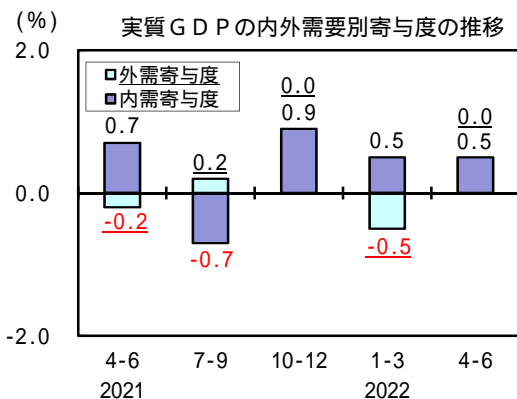
[1] GDP成長率（季節調整済前期比）

2022年4～6月期の実質GDP（国内総生産・2015暦年連鎖価格）の成長率は、0.5%（年率2.2%）となった。また、名目GDPの成長率は、0.3%（年率1.1%）となった。



[2] GDPの内外需別の寄与度

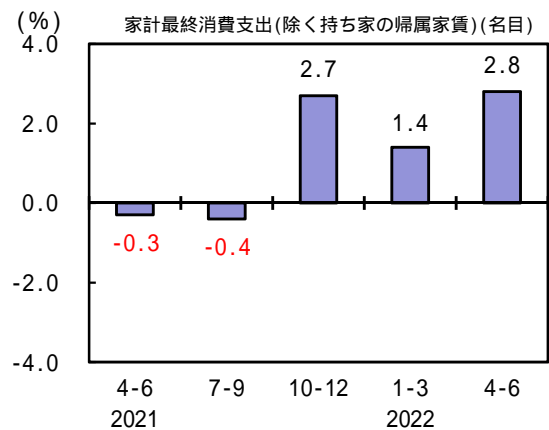
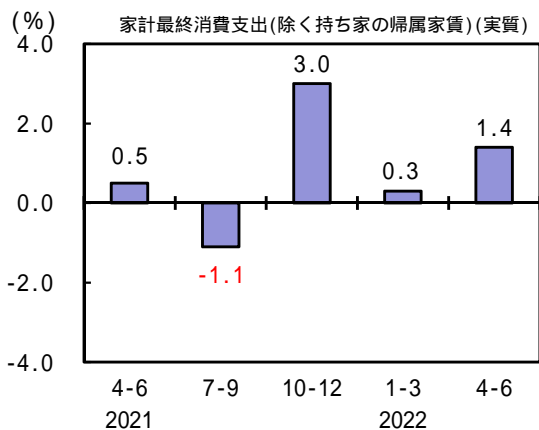
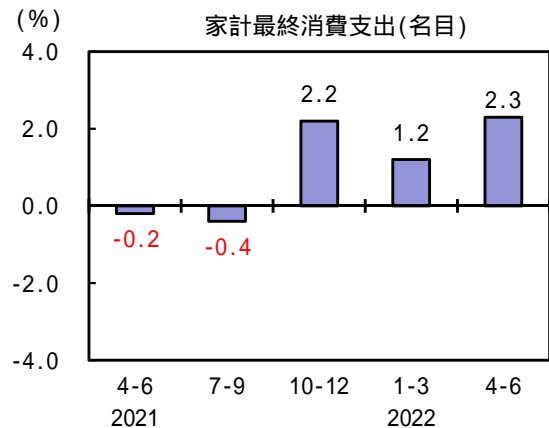
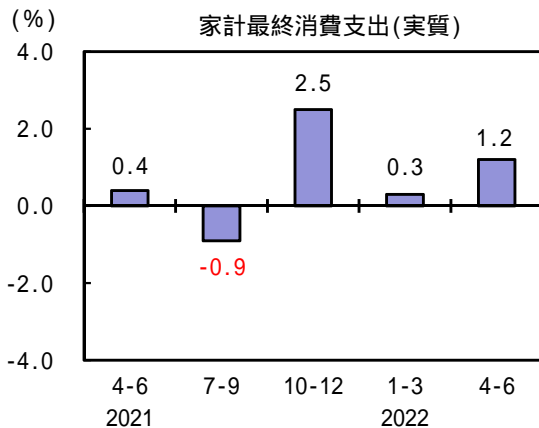
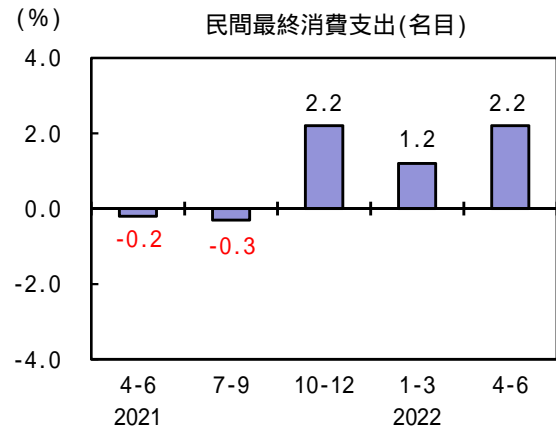
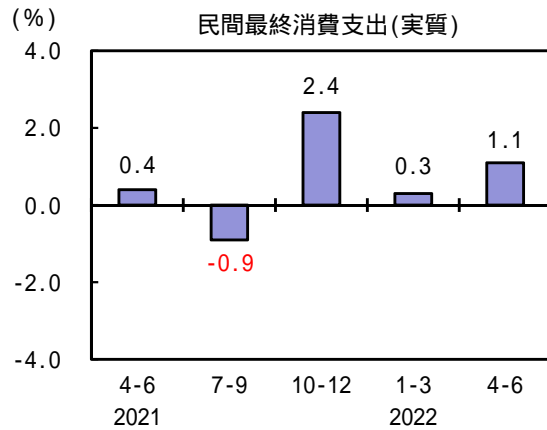
GDP成長率のうち、どの需要がGDPをどれだけ増加させたかを示す寄与度で見ると、実質は国内需要（内需）が0.5%、財貨・サービスの純輸出（輸出 - 輸入）が0.0%となった。また、名目は国内需要（内需）が1.4%、財貨・サービスの純輸出（輸出 - 輸入）が1.1%となった。



[3] 需要項目別の動向（季節調整済前期比）

（ 1 ） 民間需要の動向

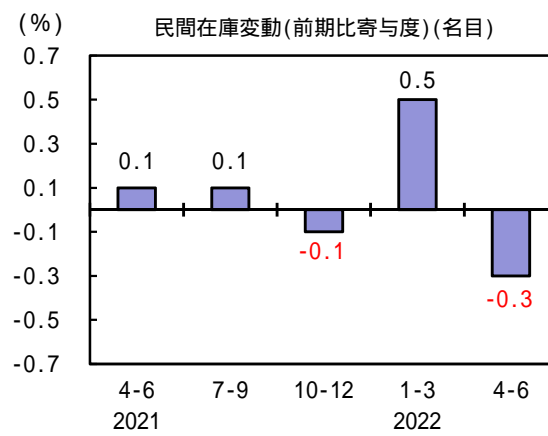
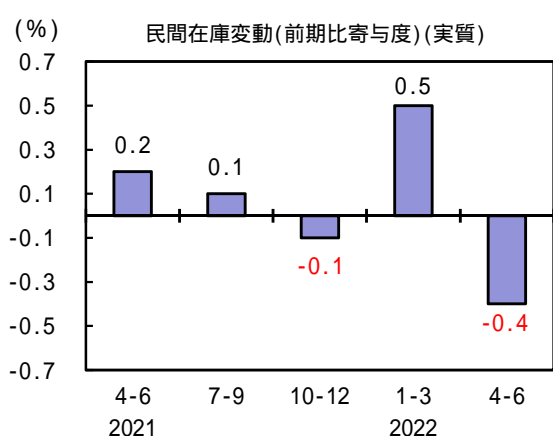
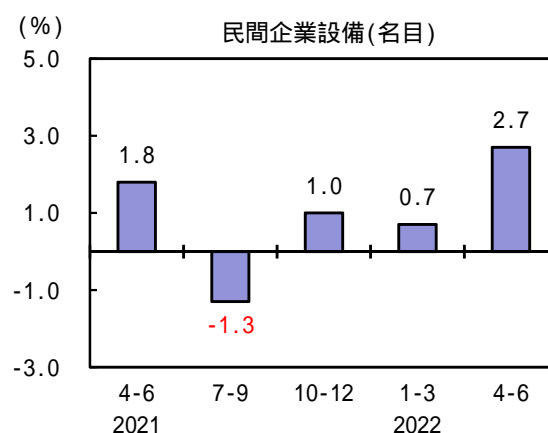
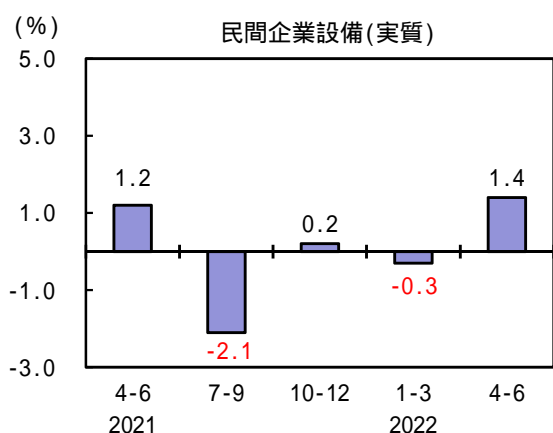
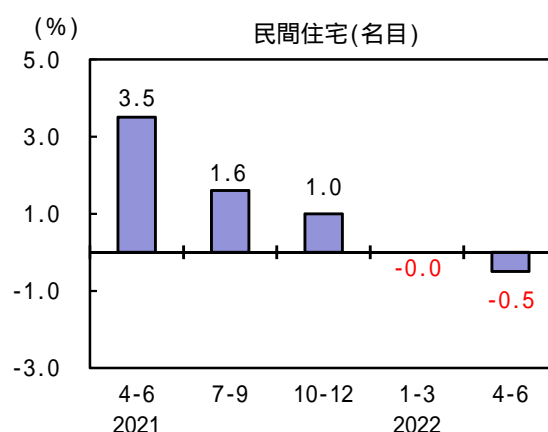
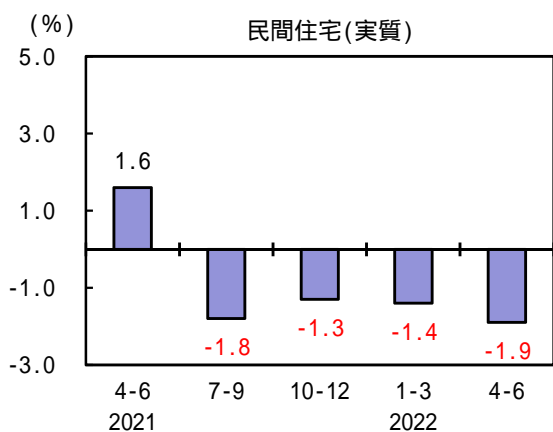
民間最終消費支出は、実質1.1%（1～3月期は0.3%）、名目2.2%（1～3月期は1.2%）となった。そのうち、家計最終消費支出は、実質1.2%（1～3月期は0.3%）、名目2.3%（1～3月期は1.2%）となった。家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃）は、実質1.4%（1～3月期は0.3%）、名目2.8%（1～3月期は1.4%）となった。



民間住宅は、実質 1.9%（1～3月期は 1.4%）、名目 0.5%（1～3月期は 0.0%）となった。

民間企業設備は、実質1.4%（1～3月期は 0.3%）、名目2.7%（1～3月期は0.7%）となった。

民間在庫変動の成長率に対する寄与度は、実質 0.4%（1～3月期の寄与度は0.5%）、名目 0.3%（1～3月期の寄与度は0.5%）となった。

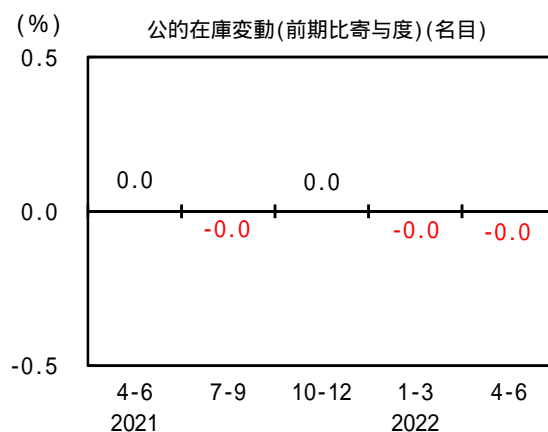
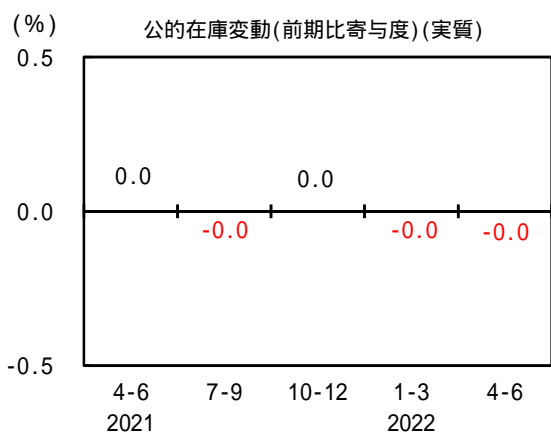
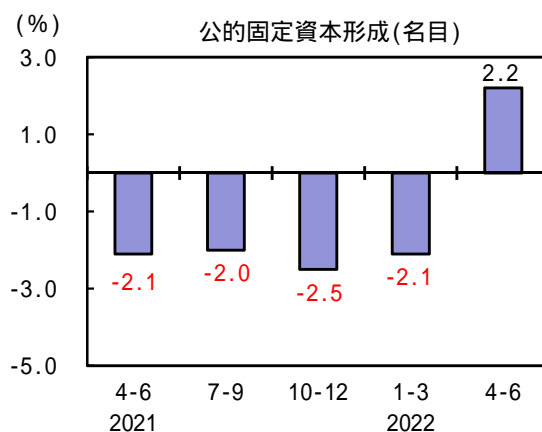
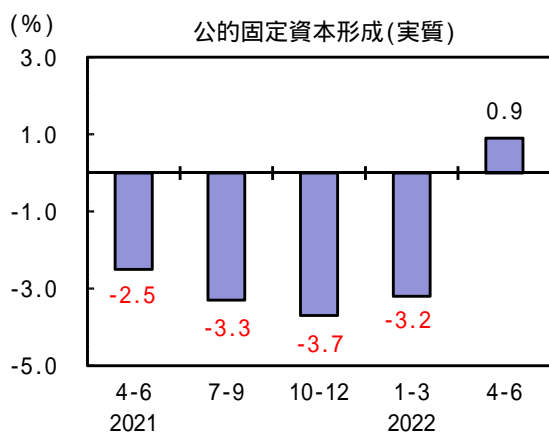
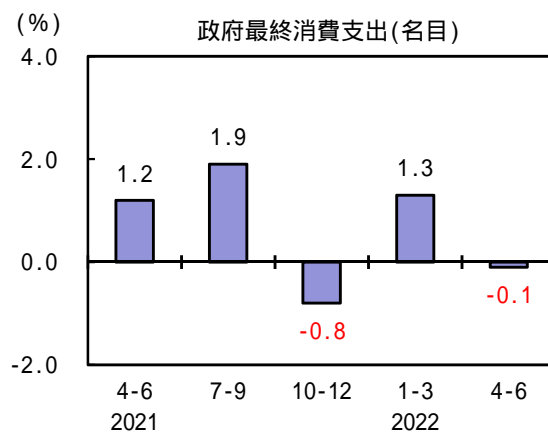
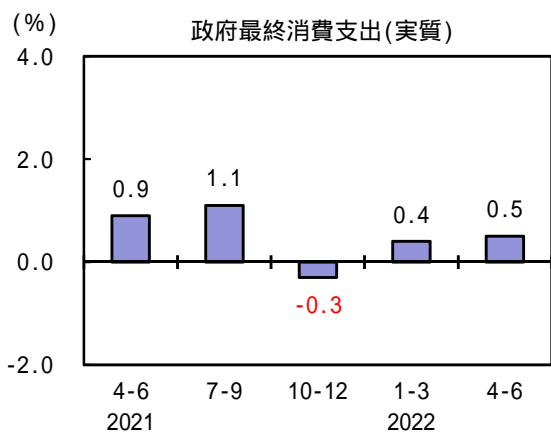


(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出は、実質0.5%（1～3月期は0.4%）、名目 0.1%（1～3月期は1.3%）となった。

公的固定資本形成は、実質0.9%（1～3月期は 3.2%）、名目2.2%（1～3月期は2.1%）となった。

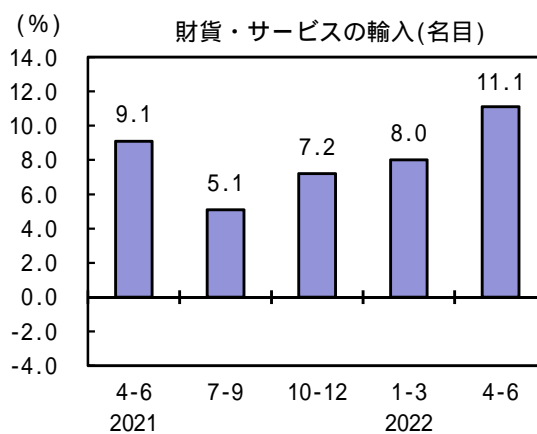
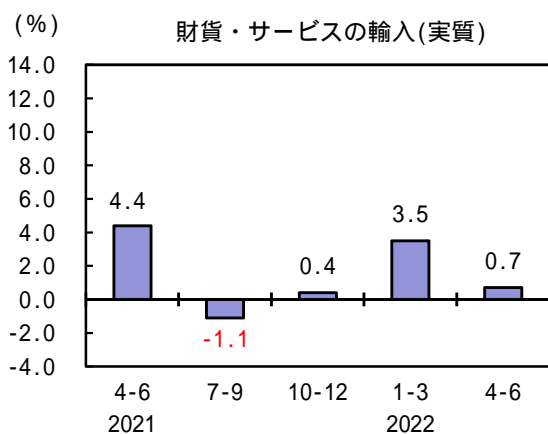
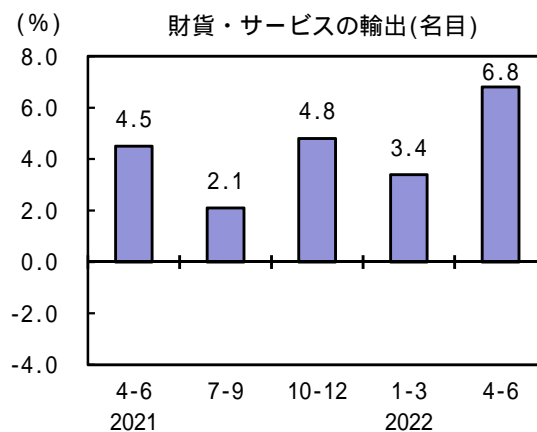
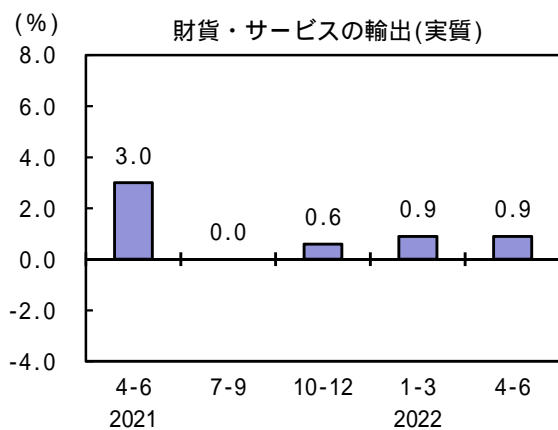
公的在庫変動の成長率への寄与度は、実質 0.0%（1～3月期の寄与度は 0.0%）、名目 0.0%（1～3月期の寄与度は 0.0%）となった。



(3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出は、実質0.9%（1～3月期は0.9%）、名目6.8%（1～3月期は3.4%）となった。

財貨・サービスの輸入は、実質0.7%（1～3月期は3.5%）、名目11.1%（1～3月期は8.0%）となった。



[4] デフレーターの変動

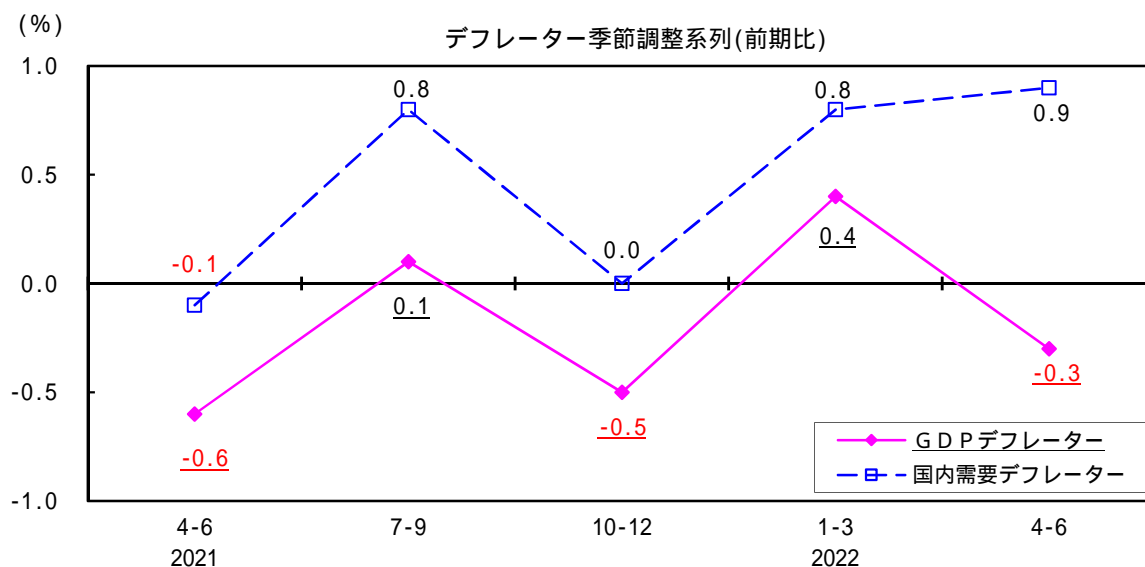
(1) 四半期デフレーター季節調整系列(注)(前期比変化率)

GDPデフレーターは、0.3%(1~3月期は0.4%)となった。

国内需要デフレーターは、0.9%(1~3月期は0.8%)となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは5.8%(1~3月期は2.5%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは10.4%(1~3月期は4.3%)となった。

(注) 四半期デフレーター季節調整系列 = (名目季節調整系列 / 実質季節調整系列) × 100

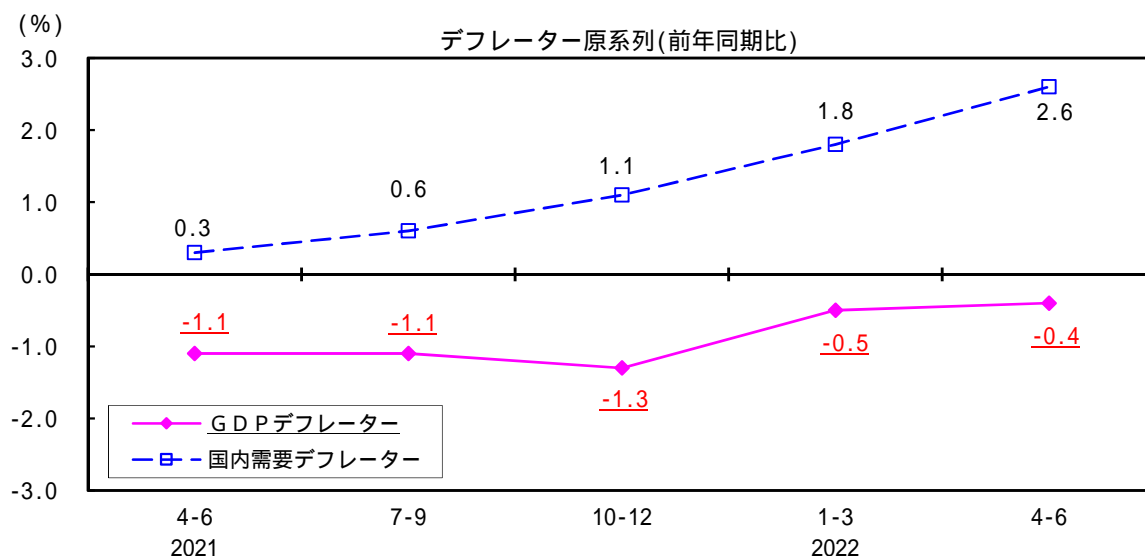


(2) 四半期デフレーター原系列(前年同期比変化率)

GDPデフレーターは、0.4%(1~3月期は0.5%)となった。

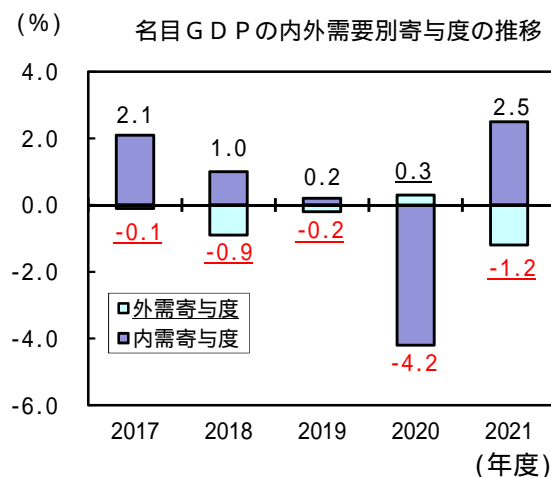
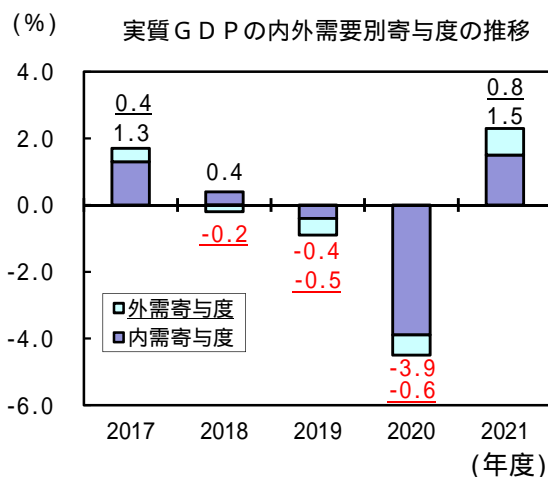
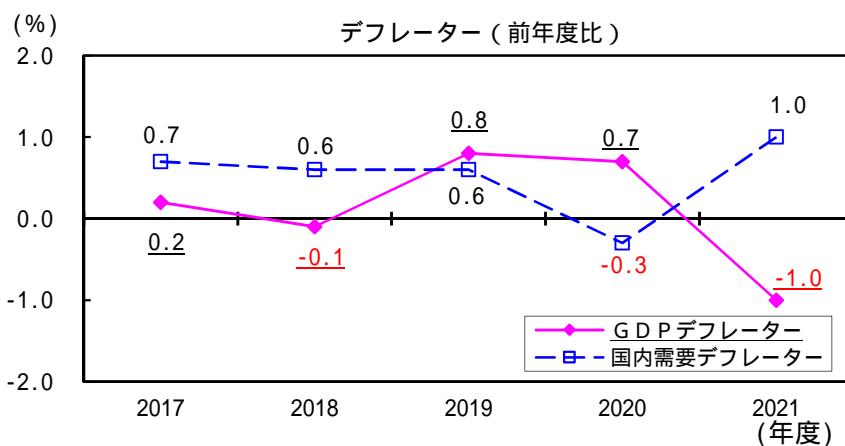
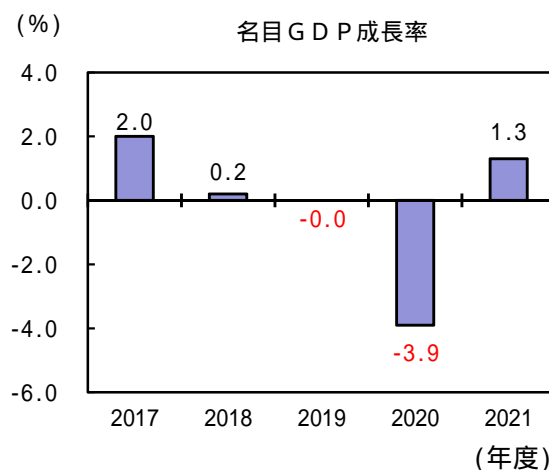
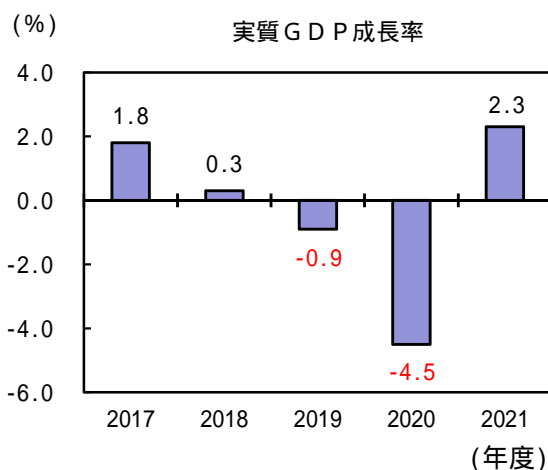
国内需要デフレーターは、2.6%(1~3月期は1.8%)となった。

財貨・サービスの輸出デフレーターは15.3%(1~3月期は10.5%)、財貨・サービスの輸入デフレーターは30.7%(1~3月期は23.5%)となった。



[5] 2021年度のGDP

2021年度の実質GDP成長率は2.3%、名目GDP成長率は1.3%となった。2021年度のデフレーターについては、GDPデフレーターが1.0%、国内需要デフレーターが1.0%となった。GDP成長率の内外需別寄与度をみると、実質の内需が1.5%、外需が0.8%となった。また名目の内需が2.5%、外需が1.2%となった。

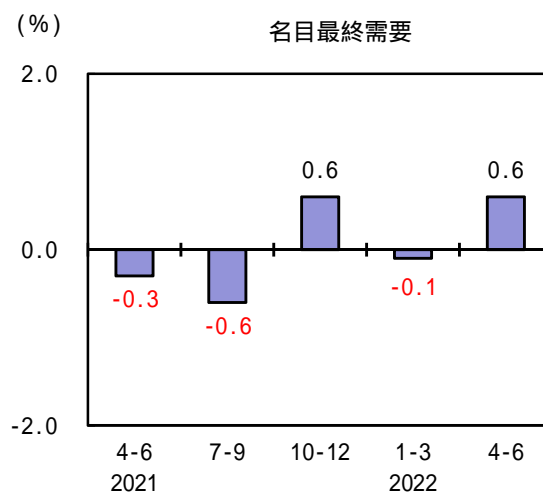
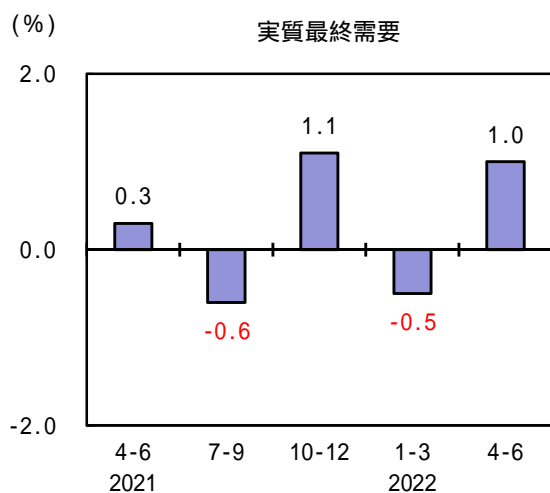


参考

[1] 最終需要の動向

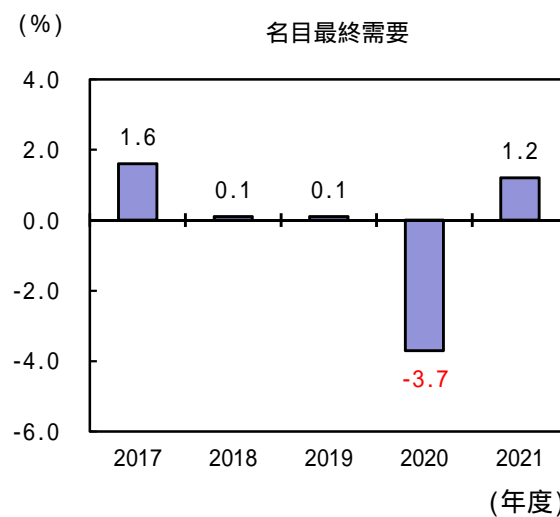
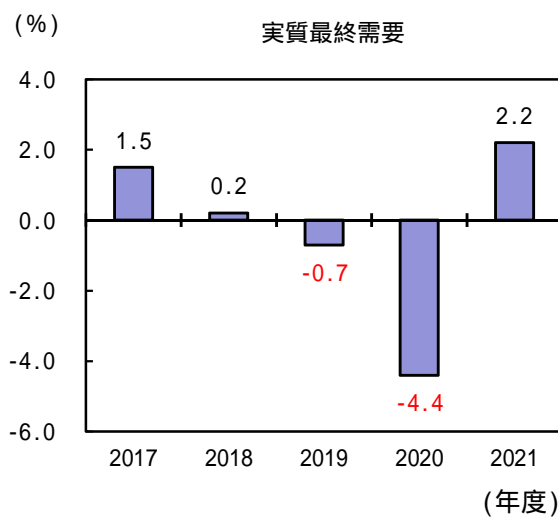
(1) 季節調整済前期比

実質最終需要の成長率は、1.0%（年率4.0%）、名目最終需要の成長率は、0.6%（年率2.5%）となった。



(2) 2021年度(前年度比)

2021年度(前年度比)の最終需要成長率は、実質2.2%、名目1.2%となった。

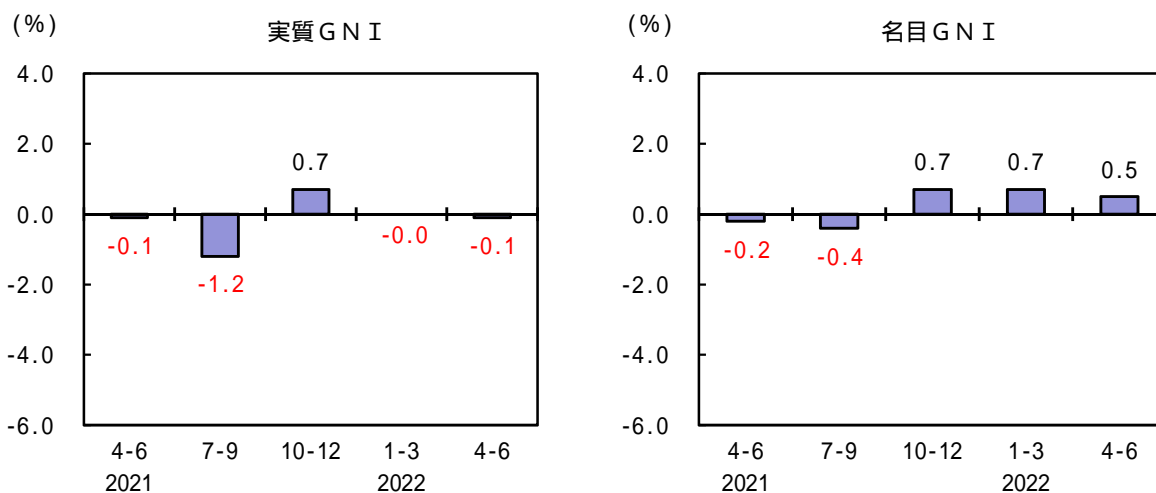


(備考) 最終需要は、GDPから民間在庫変動及び公的在庫変動を控除して算出した参考値。

[2] G N I (国民総所得) の動向

(1) 季節調整済前期比

実質 G N I の成長率は、 0.1% (年率 0.6%)、名目 G N I の成長率は、0.5% (年率1.8%) となった。



(備考) 実質 G N I = 実質 G D P + 海外からの実質純所得 + 交易利得

(0.1) (0.5) (0.2) (0.8)

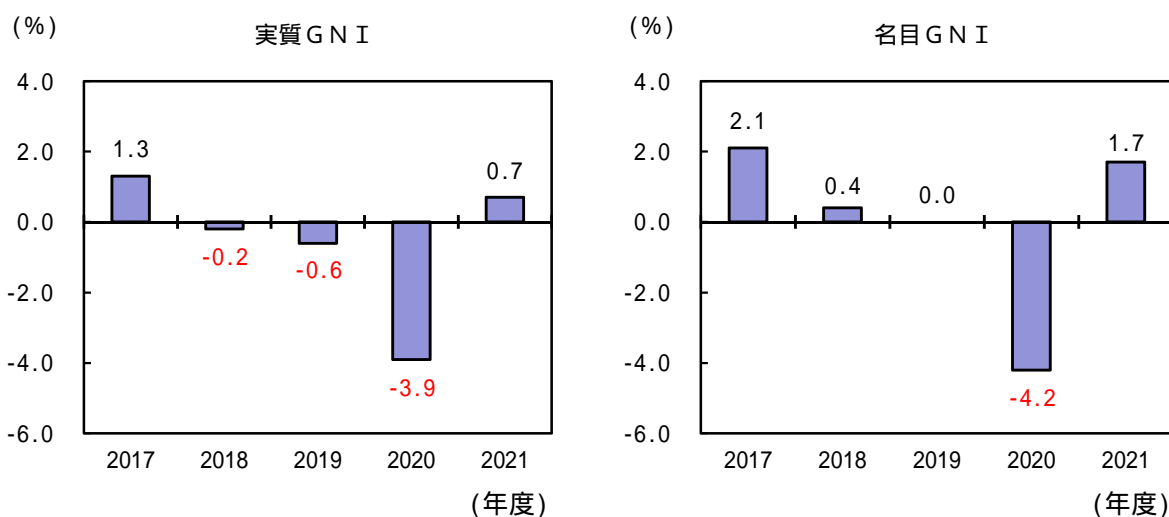
名目 G N I = 名目 G D P + 海外からの純所得

(0.5) (0.3) (0.2)

() 内は G N I 成長率
に対する寄与度

(2) 2021年度(前年度比)

2021年度(前年度比)の G N I 成長率は、実質0.7%、名目1.7%となった。



(備考) 実質 G N I = 実質 G D P + 海外からの実質純所得 + 交易利得

(0.7) (2.2) (0.4) (1.9)

名目 G N I = 名目 G D P + 海外からの純所得

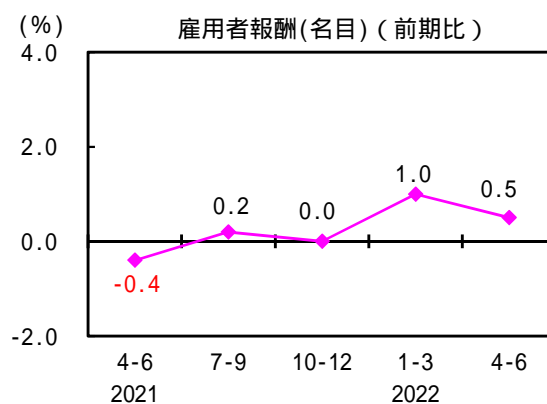
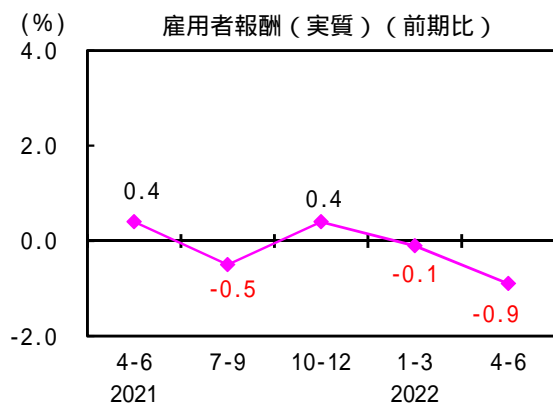
(1.7) (1.2) (0.5)

() 内は G N I 成長率
に対する寄与度

[3] 雇用者報酬の動向

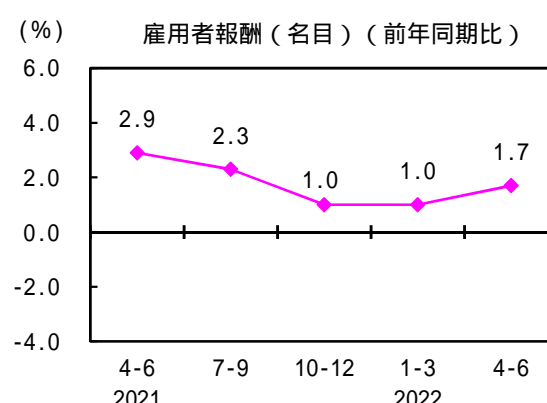
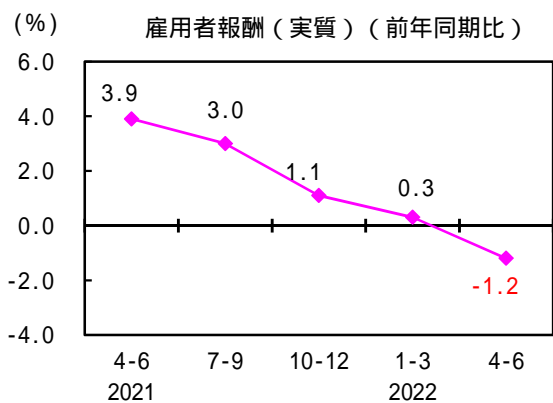
(1) 季節調整系列 (前期比変化率)

雇用者報酬の伸び率は、実質 0.9%、名目0.5%となった。



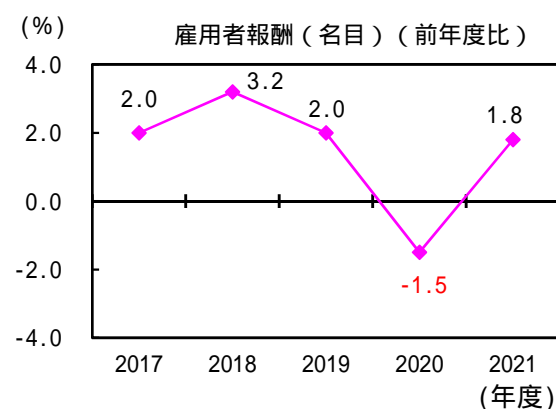
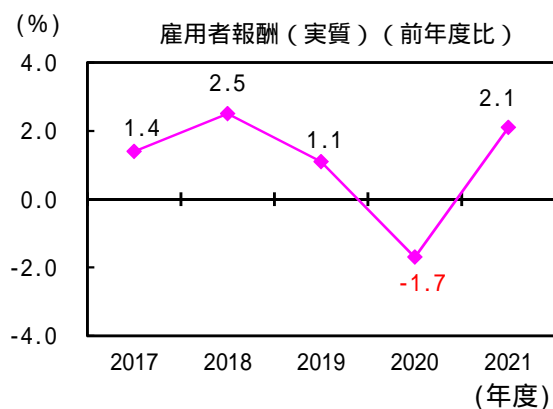
(2) 原系列 (前年同期比変化率)

雇用者報酬の伸び率は、実質 1.2%、名目1.7%となった。



(3) 2021年度

2021年度の雇用者報酬の伸び率は、実質2.1%、名目1.8%となった。



(備考) 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出 (除く持ち家の帰属家賃及びFISIM) デフレーターで除して算出した参考値。

2 - 1 . 四半期別の実質成長率 (季節調整系列)

Released: 2022.8.15

Quarterly Real Growth Rate (Seasonally Adjusted Series, Quarter-to-Quarter)

前期比
(季節調整済)
1

前期比の
年率換算
2

(2015暦年連鎖価格; 単位: %)

(Chained (2015) Yen ; %)

項 目	2021						2022		2022 4-6	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	***	4-6			
国内総生産 (GDP)	0.5	-0.5	1.0	0.0	0.5	***		2.2	Gross Domestic Product	
国内需要	0.7	-0.7	1.0	0.5	0.5	***		2.0	Domestic Demand	
民間需要	(0.7)	(-0.7)	(0.9)	(0.5)	***	(0.5)	***			
民間最終消費支出	0.9	-1.0	1.7	0.8	0.5	(0.3)		1.8	Private Demand	
民間最終消費支出	0.4	-0.9	2.4	0.3	1.1	(0.6)		4.6	Private Consumption	
家計最終消費支出	0.4	-0.9	2.5	0.3	1.2	(0.6)		4.7	Consumption of Households	
除く持ち家の帰属家賃	0.5	-1.1	3.0	0.3	1.4	(0.6)		5.7	Excluding Imputed Rent	
民間住宅	1.6	-1.8	-1.3	-1.4	-1.9	(-0.1)		-7.3	Private Residential Investment	
民間企業設備	1.2	-2.1	0.2	-0.3	1.4	(0.2)		5.8	Private Non-Resi. Investment	
民間在庫変動	(0.2)	(0.1)	(-0.1)	(0.5)	***	(-0.4)	***		Change in Private Inventories	
公的需要	0.2	0.1	-1.0	-0.3	0.6	(0.2)		2.5	Public Demand	
政府最終消費支出	0.9	1.1	-0.3	0.4	0.5	(0.1)		2.2	Government Consumption	
公的固定資本形成	-2.5	-3.3	-3.7	-3.2	0.9	(0.0)		3.8	Public Investment	
公的在庫変動	(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	***		Change in Public Inventories	
(再掲) 総固定資本形成 ³	0.4	-2.3	-0.9	-1.1	0.8	(0.2)		3.4	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ³	
財貨・サービスの純輸出 ⁴	(-0.2)	(0.2)	(0.0)	(-0.5)	***	(0.0)	***		Net Exports of Goods & Services ⁴	
財貨・サービスの輸出	3.0	0.0	0.6	0.9	0.9	(0.2)		3.7	Exports of Goods & Services	
(控除) 財貨・サービスの輸入	4.4	-1.1	0.4	3.5	0.7	(-0.1)		2.7	(Less) Imports of Goods & Services	

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要	0.3	-0.6	1.1	-0.5	1.0	***		4.0	Final Sales of Domestic Product
国内総所得 (GDI)	-0.1	-1.3	0.5	-0.4	-0.3	***		-1.2	Gross Domestic Income
国民総所得 (GNI)	-0.1	-1.2	0.7	-0.0	-0.1	***		-0.6	Gross National Income
雇用者報酬 (実質)	0.4	-0.5	0.4	-0.1	-0.9	***	***		Compensation of Employees (Real)

1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

2 Annualized

3 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

4 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

2 - 2 . 四半期別の実質成長率 (原系列)

Released: 2022.8.15

Quarterly Real Growth Rate (Original Series, Year-over-Year)

前年同期比
1

(2015暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2015) Yen ; %)

項 目	2021		2022				
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6		
国内総生産 (GDP)	7.3	1.2	0.5	0.7	1.1	***	Gross Domestic Product
国内需要	3.9	0.6	0.4	1.2	1.4	***	Domestic Demand
	(4.0)	(0.6)	(0.4)	(1.2)	***	(1.4)	
民間需要	4.5	0.7	1.1	2.2	2.0	(1.5)	Private Demand
民間最終消費支出	6.8	0.4	1.5	2.0	3.1	(1.6)	Private Consumption
家計最終消費支出	6.8	0.3	1.5	2.1	3.1	(1.6)	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃	8.4	0.4	1.7	2.5	3.8	(1.6)	Excluding Imputed Rent
民間住宅	-2.7	-0.0	-0.8	-3.0	-6.2	(-0.2)	Private Residential Investment
民間企業設備	3.2	1.0	-0.2	-1.0	-0.6	(-0.1)	Private Non-Resi. Investment
民間在庫変動	(-0.6)	(0.1)	(0.0)	(0.9)	***	(0.1)	Change in Private Inventories
公的需要	2.1	0.6	-1.3	-1.3	-0.3	(-0.1)	Public Demand
政府最終消費支出	3.0	2.0	0.9	2.1	1.7	(0.4)	Government Consumption
公的固定資本形成	-1.5	-4.5	-9.2	-12.6	-8.9	(-0.5)	Public Investment
公的在庫変動	(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(0.0)	***	(-0.0)	Change in Public Inventories
(再掲)総固定資本形成 ²	1.2	-0.4	-2.6	-4.0	-3.2	(-0.8)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ²
財貨・サービスの純輸出 ³	(3.2)	(0.6)	(0.1)	(-0.6)	***	(-0.2)	Net Exports of Goods & Services ³
財貨・サービスの輸出	27.3	15.6	5.9	4.5	2.7	(0.5)	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入	5.1	11.4	5.2	7.3	3.3	(-0.7)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要	8.1	1.1	0.5	-0.0	1.0	***	Final Sales of Domestic Product
国内総所得 (GDI)	5.9	-0.6	-2.0	-1.5	-1.5	***	Gross Domestic Income
国民総所得 (GNI)	6.3	-0.3	-1.9	-0.8	-0.7	***	Gross National Income
雇用者報酬 (実質)	3.9	3.0	1.1	0.3	-1.2	***	Compensation of Employees (Real)

1 Changes from the previous year

2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

3 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

2 - 3 . 四半期別の名目成長率 (季節調整系列)

Released: 2022.8.15

Quarterly Nominal Growth Rate (Seasonally Adjusted Series, Quarter-to-Quarter)

前期比
(季節調整済)
1

前期比の
年率換算
2

項目	前期比 (季節調整済) 1						前期比の年率換算 2	(%)
	2021			2022			2022	
年・期	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6		4-6	
国内総生産 (GDP)	-0.2	-0.5	0.5	0.4	0.3	***	1.1	Gross Domestic Product
国内需要	0.6	0.1	1.0	1.4	1.4	***	5.7	Domestic Demand
民間需要	(0.6)	(0.1)	(1.0)	(1.4)	***	(1.4)	***	Private Demand
民間最終消費支出	0.6	-0.3	1.7	1.6	1.8	(1.3)	7.3	Private Consumption
民間最終消費支出	-0.2	-0.3	2.2	1.2	2.2	(1.2)	9.3	Private Consumption
家計最終消費支出	-0.2	-0.4	2.2	1.2	2.3	(1.2)	9.4	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃	-0.3	-0.4	2.7	1.4	2.8	(1.2)	11.5	Excluding Imputed Rent
民間住宅	3.5	1.6	1.0	-0.0	-0.5	(-0.0)	-2.1	Private Residential Investment
民間企業設備	1.8	-1.3	1.0	0.7	2.7	(0.4)	11.3	Private Non-Resi. Investment
民間在庫変動	(0.1)	(0.1)	(-0.1)	(0.5)	***	(-0.3)	***	Change in Private Inventories
公的需要	0.5	1.0	-1.0	0.6	0.3	(0.1)	1.3	Public Demand
政府最終消費支出	1.2	1.9	-0.8	1.3	-0.1	(-0.0)	-0.3	Government Consumption
公的固定資本形成	-2.1	-2.0	-2.5	-2.1	2.2	(0.1)	9.0	Public Investment
公的在庫変動	(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(-0.0)	***	(-0.0)	***	Change in Public Inventories
(再掲)総固定資本形成 ³	1.2	-1.0	0.2	-0.0	2.1	(0.5)	8.6	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation ³
財貨・サービスの純輸出 ⁴	(-0.8)	(-0.6)	(-0.5)	(-1.0)	***	(-1.1)	***	Net Exports of Goods & Services ⁴
財貨・サービスの輸出	4.5	2.1	4.8	3.4	6.8	(1.4)	30.1	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入	9.1	5.1	7.2	8.0	11.1	(-2.5)	52.6	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要	-0.3	-0.6	0.6	-0.1	0.6	***	2.5	Final Sales of Domestic Product
国民総所得 (GNI)	-0.2	-0.4	0.7	0.7	0.5	***	1.8	Gross National Income
雇用者報酬 (名目)	-0.4	0.2	0.0	1.0	0.5	***	***	Compensation of Employees (Nominal)
GDPデフレーター	-0.6	0.1	-0.5	0.4	-0.3	***	***	GDP Deflator
国内需要デフレーター	-0.1	0.8	0.0	0.8	0.9	***	***	Domestic Demand Deflator

1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

2 Annualized

3 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

4 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

2 - 4 . 四半期別の名目成長率 (原系列)

Released: 2022.8.15

Quarterly Nominal Growth Rate (Original Series, Year-over-Year)

前年同期比
1

年・期		前年同期比					(%)	
		2021			2022			
項目		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	(%)	
国内総生産 (GDP)		6.1	0.0	-0.7	0.2	0.7	***	Gross Domestic Product
国内需要		4.2	1.2	1.6	3.0	4.0	***	Domestic Demand
		(4.3)	(1.2)	(1.6)	(3.0)	***	(4.0)	
民間需要		4.7	1.0	2.0	3.8	5.0	(3.7)	Private Demand
民間最終消費支出		5.9	-0.2	1.4	2.7	5.5	(3.0)	Private Consumption
家計最終消費支出		5.9	-0.3	1.3	2.7	5.6	(2.9)	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃		7.2	-0.3	1.6	3.3	6.8	(2.9)	Excluding Imputed Rent
民間住宅		0.6	6.9	8.6	6.2	2.1	(0.1)	Private Residential Investment
民間企業設備		4.6	3.0	2.7	2.3	3.4	(0.5)	Private Non-Resi. Investment
民間在庫変動		(-0.4)	(0.1)	(-0.0)	(0.7)	***	(0.1)	Change in Private Inventories
公的需要		3.0	1.8	0.5	0.8	1.2	(0.3)	Public Demand
政府最終消費支出		3.4	3.0	2.1	3.8	2.4	(0.6)	Government Consumption
公的固定資本形成		0.7	-1.7	-5.4	-8.8	-4.2	(-0.2)	Public Investment
公的在庫変動		(0.0)	(-0.0)	(0.0)	(0.0)	***	(-0.0)	Change in Public Inventories
(再掲)総固定資本形成	2	3.1	2.6	1.5	0.2	1.6	(0.4)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation 2
財貨・サービスの純輸出	3	(1.8)	(-1.2)	(-2.3)	(-2.8)	***	(-3.3)	Net Exports of Goods & Services 3
財貨・サービスの輸出		36.9	25.0	17.7	15.6	18.4	(3.4)	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入		21.0	33.4	34.3	32.6	35.1	(-6.7)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要	6.6	-0.0	-0.7	-0.6	0.6	***	Final Sales of Domestic Product
国民総所得 (GNI)	6.4	0.4	-0.6	0.9	1.5	***	Gross National Income
雇用者報酬 (名目)	2.9	2.3	1.0	1.0	1.7	***	Compensation of Employees (Nominal)
GDPデフレーター	-1.1	-1.1	-1.3	-0.5	-0.4	***	GDP Deflator
国内需要デフレーター	0.3	0.6	1.1	1.8	2.6	***	Domestic Demand Deflator

1 Changes from the previous year

2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

3 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

3 - 1 . 年次別の実質成長率 Annual Real Growth Rate

Released: 2022.8.15

前年比
1

(2015暦年連鎖価格； 単位：％)

(Chained (2015) Yen ; %)

年 目	年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)				
	2019	2020	2021		2020	2021			
国内総生産 (GDP)	-0.9	-4.5	2.3	***	-4.6	1.7	***	Gross Domestic Product	
国内需要	-0.4	-3.9	1.5	***	-3.8	0.6	***	Domestic Demand	
	(-0.4)	(-3.9)	***	(1.5)	(-3.8)	***	(0.6)		
民間需要	-1.2	-6.3	2.1	(1.5)	-5.9	0.5	(0.3)	Private Demand	
民間最終消費支出	-1.0	-5.4	2.6	(1.4)	-5.2	1.3	(0.7)	Private Consumption	
家計最終消費支出	-1.3	-6.2	2.6	(1.3)	-5.9	1.1	(0.6)	Consumption of Households	
除く持ち家の帰属家賃	-1.6	-7.4	3.1	(1.3)	-7.0	1.3	(0.5)	Excluding Imputed Rent	
民間住宅	2.5	-7.8	-1.6	(-0.1)	-8.0	-1.9	(-0.1)	Private Residential Investment	
民間企業設備	-1.7	-7.7	0.6	(0.1)	-6.9	-0.9	(-0.1)	Private Non-Resi. Investment	
民間在庫変動	(-0.2)	(-0.2)	***	(0.1)	(-0.1)	***	(-0.1)	Change in Private Inventories	
公的需要	2.1	3.0	-0.0	(-0.0)	2.6	1.1	(0.3)	Public Demand	
政府最終消費支出	2.1	2.5	2.0	(0.4)	2.3	2.1	(0.4)	Government Consumption	
公的固定資本形成	1.7	5.1	-7.5	(-0.4)	3.6	-2.6	(-0.1)	Public Investment	
公的在庫変動	(0.0)	(-0.0)	***	(0.0)	(0.0)	***	(0.0)	Change in Public Inventories	
(再掲) 総固定資本形成	2	-0.4	-5.1	-1.6	(-0.4)	-4.9	-1.4	(-0.4)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation 2
財貨・サービスの純輸出	3	(-0.5)	(-0.6)	***	(0.8)	(-0.8)	***	(1.0)	Net Exports of Goods & Services 3
財貨・サービスの輸出		-2.3	-10.0	12.5	(2.0)	-11.6	11.8	(1.8)	Exports of Goods & Services
(控除) 財貨・サービスの輸入		0.2	-6.3	7.2	(-1.2)	-6.7	5.1	(-0.8)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要	-0.7	-4.4	2.2	***	-4.5	1.8	***	Final Sales of Domestic Product
国内総所得 (GDI)	-0.6	-3.6	0.3	***	-3.7	0.3	***	Gross Domestic Income
国民総所得 (GNI)	-0.6	-3.9	0.7	***	-4.0	0.5	***	Gross National Income
雇員報酬 (実質)	1.1	-1.7	2.1	***	-1.7	2.2	***	Compensation of Employees (Real)

1 Changes from the previous year

2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

3 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

3 - 2 . 年次別の名目成長率
Annual Nominal Growth Rate

Released: 2022.8.15

前年比
1

(単位 : %)

(%)

項目	年	前年比							
		年度(Fiscal Year)			暦年(Calendar Year)				
		2019	2020	2021	2020	2021			
国内総生産 (GDP)		-0.0	-3.9	1.3	***	-3.7	0.8	***	Gross Domestic Product
国内需要		0.2	-4.2	2.5	***	-3.8	1.1	***	Domestic Demand
		(0.2)	(-4.2)	***	(2.5)	(-3.8)	***	(1.1)	
民間需要		-0.6	-6.4	2.8	(2.1)	-5.8	0.7	(0.5)	Private Demand
民間最終消費支出		-0.4	-5.5	2.4	(1.3)	-5.0	0.8	(0.5)	Private Consumption
家計最終消費支出		-0.6	-6.2	2.3	(1.2)	-5.6	0.6	(0.3)	Consumption of Households
除く持ち家の帰属家賃		-0.7	-7.4	2.8	(1.2)	-6.6	0.7	(0.3)	Excluding Imputed Rent
民間住宅		4.1	-7.4	5.6	(0.2)	-7.0	3.1	(0.1)	Private Residential Investment
民間企業設備		-1.3	-8.2	3.1	(0.5)	-7.1	0.6	(0.1)	Private Non-Resi. Investment
民間在庫変動		(-0.2)	(-0.2)	***	(0.1)	(-0.2)	***	(-0.1)	Change in Private Inventories
公的需要		2.7	2.4	1.5	(0.4)	2.3	2.0	(0.5)	Public Demand
政府最終消費支出		2.5	1.7	3.1	(0.7)	1.7	2.6	(0.6)	Government Consumption
公的固定資本形成		3.2	5.5	-4.3	(-0.2)	4.4	-0.3	(-0.0)	Public Investment
公的在庫変動		(0.0)	(-0.0)	***	(0.0)	(0.0)	***	(-0.0)	Change in Public Inventories
(再掲)総固定資本形成	2	0.4	-5.2	1.8	(0.4)	-4.7	0.7	(0.2)	(Regrouped) Gross Fixed Capital Formation 2
財貨・サービスの純輸出	3	(-0.2)	(0.3)	***	(-1.2)	(0.0)	***	(-0.3)	Net Exports of Goods & Services 3
財貨・サービスの輸出		-5.4	-11.8	22.9	(3.6)	-14.0	19.3	(3.0)	Exports of Goods & Services
(控除)財貨・サービスの輸入		-4.1	-13.2	30.3	(-4.8)	-13.9	20.9	(-3.3)	(Less) Imports of Goods & Services

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

(参考)

(cf)

最終需要		0.1	-3.7	1.2	***	-3.6	0.9	***	Final Sales of Domestic Product
国民総所得 (GNI)		0.0	-4.2	1.7	***	-4.0	0.9	***	Gross National Income
雇用者報酬 (名目)		2.0	-1.5	1.8	***	-1.2	1.7	***	Compensation of Employees (Nominal)
GDPデフレーター		0.8	0.7	-1.0	***	0.9	-0.9	***	GDP Deflator
国内需要デフレーター		0.6	-0.3	1.0	***	0.0	0.4	***	Domestic Demand Deflator

1 Changes from the previous year

2 総固定資本形成は民間住宅、民間企業設備、公的固定資本形成から成る。

Gross Fixed Capital Formation consists of Private Residential Investment, Private Non-Resi. Investment and Public Investment.

3 財貨・サービスの純輸出 = 財貨・サービスの輸出 - 財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

形態別国内家計最終消費支出及び財貨・サービス別の輸出入

Domestic Final Consumption Expenditure of Households Classified by Type and Exports and Imports of Goods and Services

1 - 1 . 四半期別の実質成長率

Quarterly Real Growth Rate

前期比
(季節調整済)
1前期比の
年率換算
2前年
同期比
3

(2015暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2015) Yen ; %)

年・期 項 目	2021			2022			2022	2022	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6		4~6	4~6	
(再掲) 家計最終消費支出	0.4	-0.9	2.5	0.3	1.2	(0.6)	4.7	3.1	Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入	-1.5	-3.1	3.2	8.4	20.9	(0.0)	114.0	32.0	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入	-6.0	12.9	-7.0	0.3	7.1	(-0.0)	31.6	12.3	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出	0.4	-0.9	2.5	0.3	1.1	(0.6)	4.7	3.1	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐 久 財	0.9	-16.1	9.1	-0.6	0.3	(0.0)	1.3	-8.9	Durable Goods
半 耐 久 財	0.8	-3.3	7.0	-1.1	3.9	(0.1)	16.3	6.7	Semi-Durable Goods
非 耐 久 財	-0.2	1.2	-0.8	1.1	0.4	(0.1)	1.6	1.9	Non-Durable Goods
サ ー ビ ス	0.6	0.5	2.9	0.1	1.4	(0.4)	5.6	5.1	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 4	(-0.2)	(0.2)	(0.0)	(-0.5)	***	(0.0)	***	(-0.2)	Net Exports of Goods & Services 4
(再掲) 財貨・サービスの輸出	3.0	0.0	0.6	0.9	0.9	(0.2)	3.7	2.7	Exports of Goods & Services
財貨の輸出	3.2	-0.3	1.0	1.8	0.4	(0.1)	1.6	3.1	Exports of Goods
サービスの輸出 5	2.0	1.5	-1.1	-3.2	3.5	(0.1)	14.8	0.7	Exports of Services 5
(再掲) 財貨・サービスの輸入	4.4	-1.1	0.4	3.5	0.7	(-0.1)	2.7	3.3	Imports of Goods & Services
財貨の輸入	3.0	-0.4	0.8	3.8	1.8	(-0.3)	7.5	6.4	Imports of Goods
サービスの輸入 6	9.3	-3.1	-0.8	2.4	-3.5	(0.1)	-13.3	-5.1	Imports of Services 6

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

2 Annualized

3 Changes from the previous year (year-over-year)

4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

5 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

6 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

1 - 2 . 四半期別の名目成長率

Quarterly Nominal Growth Rate

Released: 2022.8.15

年・期	前期比 (季節調整済) 1						前期比の 年率換算 2		前年 同期比 3	(%)
	2021			2022			2022	2022		
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6		4~6	4~6		
(再掲) 家計最終消費支出	-0.2	-0.4	2.2	1.2	2.3	(1.2)	9.4	5.6	Consumption of Households	
居住者家計の海外での直接購入	-0.9	1.3	6.3	12.0	27.6	(0.0)	165.5	56.0	Direct Purchases Abroad by Resident Households	
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入	-6.9	13.8	-6.7	1.1	8.0	(-0.0)	35.9	15.5	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households	
国内家計最終消費支出	-0.2	-0.4	2.2	1.2	2.3	(1.2)	9.4	5.5	Domestic Final Consumption Expenditure of Households	
耐久財	0.2	-13.7	6.9	-0.6	2.1	(0.1)	8.9	-6.4	Durable Goods	
半耐久財	0.8	-3.3	6.6	-0.2	4.0	(0.1)	16.9	7.3	Semi-Durable Goods	
非耐久財	1.1	3.0	0.4	3.6	1.6	(0.3)	6.6	8.9	Non-Durable Goods	
サービス	-1.1	0.2	2.2	0.3	2.5	(0.7)	10.2	5.3	Services	

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 4	(-0.8)	(-0.6)	(-0.5)	(-1.0)	***	(-1.1)	***	(-3.3)	Net Exports of Goods & Services 4
(再掲) 財貨・サービスの輸出	4.5	2.1	4.8	3.4	6.8	(1.4)	30.1	18.4	Exports of Goods & Services
財貨の輸出	4.4	1.9	5.4	4.5	5.9	(1.0)	26.0	19.2	Exports of Goods
サービスの輸出 5	5.3	3.3	1.9	-1.8	11.0	(0.4)	51.9	14.8	Exports of Services 5
(再掲) 財貨・サービスの輸入	9.1	5.1	7.2	8.0	11.1	(-2.5)	52.6	35.1	Imports of Goods & Services
財貨の輸入	8.6	6.5	8.7	9.2	13.7	(-2.5)	67.3	44.3	Imports of Goods
サービスの輸入 6	11.0	0.1	1.8	3.5	0.6	(-0.0)	2.6	6.3	Imports of Services 6

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

1 Changes from the previous quarter (seasonally adjusted)

2 Annualized

3 Changes from the previous year (year-over-year)

4 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

5 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

6 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

2 - 1 . 年次別の実質成長率

Annual Real Growth Rate

Released: 2022.8.15

前年比
1

(2015暦年連鎖価格； 単位：%)

(Chained (2015) Yen ; %)

項 目	年 度(Fiscal Year)				暦 年(Calendar Year)			
	2019	2020	2021		2020	2021		
(再掲) 家計最終消費支出	-1.3	-6.2	2.6	(1.3)	-5.9	1.1	(0.6)	Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入	-1.1	-84.9	2.3	(0.0)	-72.9	-48.0	(-0.0)	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入	-5.2	-87.6	-3.1	(0.0)	-77.3	-52.1	(0.1)	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出	-1.3	-6.8	2.6	(1.3)	-6.5	1.0	(0.5)	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐 久 財	-1.9	-3.8	-2.8	(-0.1)	-7.1	1.2	(0.0)	Durable Goods
半 耐 久 財	-3.0	-5.4	0.5	(0.0)	-5.6	-1.4	(-0.0)	Semi-Durable Goods
非 耐 久 財	-1.3	-2.5	1.7	(0.2)	-2.2	0.9	(0.1)	Non-Durable Goods
サ ー ビ ス	-1.1	-9.4	4.0	(1.2)	-8.6	1.2	(0.4)	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 2	(-0.5)	(-0.6)	***	(0.8)	(-0.8)	***	(1.0)	Net Exports of Goods & Services 2
(再掲) 財貨・サービスの輸出	-2.3	-10.0	12.5	(2.0)	-11.6	11.8	(1.8)	Exports of Goods & Services
財貨の輸出	-3.1	-6.5	14.3	(1.8)	-8.6	14.2	(1.8)	Exports of Goods
サービスの輸出 3	0.9	-22.4	4.8	(0.1)	-22.3	1.8	(0.1)	Exports of Services 3
(再掲) 財貨・サービスの輸入	0.2	-6.3	7.2	(-1.2)	-6.7	5.1	(-0.8)	Imports of Goods & Services
財貨の輸入	-1.4	-4.8	7.5	(-0.9)	-6.2	6.2	(-0.7)	Imports of Goods
サービスの輸入 4	6.2	-11.0	6.4	(-0.2)	-8.6	1.8	(-0.1)	Imports of Services 4

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

1 Changes from the previous year

2 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

3 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

4 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

2 - 2 . 年次別の名目成長率

Annual Nominal Growth Rate

Released: 2022.8.15

前年比
1

(単位: %)

項 目	年	前年比						(%)	
		年度(Fiscal Year)				暦年(Calendar Year)			
		2019	2020	2021		2020	2021		
(再掲) 家計最終消費支出		-0.6	-6.2	2.3	(1.2)	-5.6	0.6	(0.3)	Consumption of Households
居住者家計の海外での直接購入		-4.7	-84.7	13.6	(0.0)	-73.0	-43.4	(-0.0)	Direct Purchases Abroad by Resident Households
(控除) 非居住者家計の国内での直接購入		-4.7	-87.6	-3.0	(0.0)	-77.3	-52.3	(0.1)	(Less) Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households
国内家計最終消費支出		-0.7	-6.8	2.3	(1.2)	-6.2	0.5	(0.2)	Domestic Final Consumption Expenditure of Households
耐 久 財		-0.5	-2.5	-2.7	(-0.1)	-5.5	1.3	(0.1)	Durable Goods
半 耐 久 財		-1.9	-4.6	0.5	(0.0)	-4.3	-1.5	(-0.0)	Semi-Durable Goods
非 耐 久 財		-0.4	-2.9	5.7	(0.9)	-2.1	3.0	(0.5)	Non-Durable Goods
サ ー ビ ス		-0.7	-9.5	1.5	(0.4)	-8.4	-0.7	(-0.2)	Services

(再掲) 財貨・サービスの純輸出 2	(-0.2)	(0.3)	***	(-1.2)	(0.0)	***	(-0.3)	Net Exports of Goods & Services 2
(再掲) 財貨・サービスの輸出	-5.4	-11.8	22.9	(3.6)	-14.0	19.3	(3.0)	Exports of Goods & Services
財貨の輸出	-7.0	-8.5	25.2	(3.2)	-11.2	22.3	(2.8)	Exports of Goods
サービスの輸出 3	0.4	-23.7	13.2	(0.4)	-23.5	7.2	(0.2)	Exports of Services 3
(再掲) 財貨・サービスの輸入	-4.1	-13.2	30.3	(-4.8)	-13.9	20.9	(-3.3)	Imports of Goods & Services
財貨の輸入	-6.8	-13.1	35.0	(-4.2)	-14.7	25.0	(-3.0)	Imports of Goods
サービスの輸入 4	5.4	-13.6	15.4	(-0.6)	-11.2	8.0	(-0.3)	Imports of Services 4

(注) ()内は国内総生産に対する寄与度を表す。

Note: The figures in () indicate contributions to changes in GDP.

1 Changes from the previous year

2 財貨・サービスの純輸出=財貨・サービスの輸出-財貨・サービスの輸入

Net Exports of Goods & Services = Exports of Goods & Services - Imports of Goods & Services

純輸出の寄与度は輸出と輸入の寄与度の差によって求めている。

The contribution is calculated as the contribution of Exports less that of Imports.

3 含む非居住者家計の国内での直接購入

Including Direct Purchases in the Domestic Market by Non-Resident Households

4 含む居住者家計の海外での直接購入

Including Direct Purchases Abroad by Resident Households

・ 1次速報から2次速報への主な改定要因

今回の1次速報発表後に、推計に用いる基礎統計の入手などにより、2次速報において改定される需要項目の主要なものは以下のとおり。

<原系列>

○ 民間企業設備

1次速報：供給側基礎統計の情報に基づいて推計

2次速報：『四半期別法人企業統計』（財務省）等により推計される需要側推計値と供給側推計値を統合して推計（なお、供給側推計値も、基礎統計の欠落月値の入手、確報化により、改定される。）

○ 民間在庫変動

原材料、仕掛品、製品、流通品の4形態の在庫のうち、

1次速報：原材料、仕掛品について、1次速報段階では、季節調整の際に利用しているARIMAモデルにより名目及び実質原系列を推計

2次速報：原材料、仕掛品については、『四半期別法人企業統計』により推計（なお、製品、流通品も基礎統計の確報化等により、改定される。）

○ 基礎統計の欠落月値入手、確報化等による改定

1次速報：基礎統計の欠落月値については、補外推計。また、基礎統計の確報値が入手できない場合は、速報値を用いて推計（3カ月目の『国際収支統計』の公表日までに公表された基礎統計を利用可能な範囲で用いて推計。）

2次速報：1次速報段階における基礎統計の欠落月値が入手できた場合は、補外推計値から置き換えて、また、確報化または遡及改定等がなされた場合は、速報値から置き換えて推計（当該四半期の『四半期別法人企業統計』の公表日までに公表された基礎統計を利用可能な範囲で用いて推計。）

<季節調整系列>

四半期の季節調整系列については、上記により改定される原系列を含めて季節調整をかけなおすため、名目、実質ともに、1994年1-3月期まで遡って改定される。

(参考) 1次速報値から2次速報値への改定幅について

実質GDPについて、2010年4-6月期^(※1)から2022年1-3月期までを対象に、各四半期の1次速報から2次速報への当該期の季節調整済前期比の改定幅の絶対値平均をみると、0.19(年率^(※2)0.75)%ポイントとなっている。

※1：民間企業設備について、1次速報における需要側推計値の仮置き値の推計方法を現行の方式に変更した期。

※2：前期比年率は、仮に当該期の前期比が4四半期続いた場合の1年間の伸び率をいう。

・ その他の留意事項

(1) 基礎統計の遡及改定等の反映

今回の1次速報においては、基礎統計の追加入手等を踏まえた通常の改定を行っている。そのほか、以下に示す基礎統計の遡及改定等に対応して、所要の改定を行った。

改定された基礎統計	速報推計における遡及期間	公表時期	改定される推計
建設総合統計(※)	2018年1-3月期まで	2022年8月	供給側推計 公的固定資本形成推計等
企業物価指数	2020年1-3月期まで	2022年6月	供給側推計 デフレーター推計
生産動態統計	2020年1-3月期まで	2022年7月	供給側推計
資金循環統計	2020年4-6月期まで	2022年6月	FISIM推計
農作物価指数	2021年1-3月期まで	2022年7月	供給側推計 デフレーター推計

(※) 建設総合統計の遡及改定による影響については別紙を参照されたい。

(注) 国民経済計算(支出側系列)の実質値及びデフレーターの計算では連鎖方式を採用しており、四半期実質値の計算においては比例デントン法を用いている。そのため、四半期実質値については、四半期名目値の改定がある2018年1-3月期の1年前の2017年1-3月期まで改定している(2017暦年の実質値については改定はない)。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応について

2022年6月については、新型コロナウイルス感染症等の影響により、従来の補外方法ではとらえきれない基礎統計の動きが予見される。このため、2020年1-3月期以降と同様に、推計時点で利用可能な業界統計・業界大手企業のデータ等の動きにより6月値を補外している。また、2022年1-3月期四半期別GDP速報(1次速報値)において設定したダミー変数に加え、今回の1次速報においても、耐久財および政府個別消費支出に加法型異常値処理のダミー変数を設定している。

上記を含む今回の1次速報における推計方法の変更等については、令和4年7月26日「2022年4-6月期四半期別GDP速報(1次速報値)における推計方法の変更等について」を参照されたい。

「2022年4-6月期四半期別GDP速報（1次速報値）における推計方法の変更等について」
https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/reference1/siryou/2022/pdf/announce_20220726.pdf

(3) 「訪日外国人消費動向調査」の2022年4-6月期調査に関する対応について

「国際収支統計」（財務省・日本銀行）を基礎統計とする直接購入分については、国内家計最終消費支出の需要側推計値の推計にあたって、当該推計値の88目的分類に分割するため、「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）を利用している。

今回公表された2022年4-6月期の調査結果では、訪日外国人一人あたり費目別旅行支出の内訳項目が公表されず、国内家計最終消費支出の需要側推計値の推計に用いることができないため、2020年4-6月期以降と同様に、2020年1-3月期調査を用いて推計を行っている。

(4) 2022年4-6月期1次速報における民間在庫変動の4形態別計数について

2022年4-6月期1次速報における民間在庫変動の4形態別計数（実質季節調整系列：年率表示）は以下のとおり。

（単位：10億円）

	2021/ 4-6	7-9	10-12	2022/ 1-3	4-6	2022/4-6 実質 GDP 成長率に対 する寄与度 (%)
民間在庫変動	▲27.2	600.0	132.0	2,949.1	686.2	▲0.4
原材料	154.9	70.2	236.7	382.0	77.0	▲0.1
仕掛品	660.2	862.8	663.3	2,258.3	644.0	▲0.3
製品	847.8	1,353.5	977.5	822.1	771.5	▲0.0
流通品	▲1,649.3	▲1,648.7	▲1,701.1	▲506.0	▲833.5	▲0.1

(5) 2022年4-6月期1次速報の民間企業設備の推計過程で用いた供給側推計値及び需要側推計値について

2022年4-6月期1次速報における2022年4-6月期の民間企業設備の推計過程において、供給側基礎統計の情報に基づいて算出した供給側推計値は名目原系列前期比▲12.1%、また、供給側推計値の情報を用いて仮置きした需要側推計値は名目原系列前期比▲32.1%となっている。

． 今後の四半期別 GDP 速報の公表予定

2022 年 4-6 月期 2 次速報値の公表予定

2022 年 9 月 8 日（木）8 時 50 分

2022 年 7-9 月期 1 次速報値の公表予定

2022 年 11 月 15 日（火）8 時 50 分

2022 年 7-9 月期 2 次速報値の公表予定

2022 年 12 月 8 日（木）8 時 50 分

2022 年 10-12 月期 1 次速報値の公表予定

2023 年 2 月 14 日（火）8 時 50 分

2022 年 10-12 月期 2 次速報値の公表予定

2023 年 3 月 9 日（木）8 時 50 分

なお、上記の公表予定は現時点の予定であり、今後、基礎統計の公表予定の変更等により、変更する可能性がある。

本件問合せ先：

内閣府 経済社会総合研究所 国民経済計算部 国民支出課
東京都千代田区永田町 1-6-1

電話 03-6257-1638 (直通)

(別紙)

建設総合統計の遡及改定による影響について

令和4年8月15日
内閣府経済社会総合研究所

令和4年8月15日公表の2022年4-6月期GDP速報(1次速報値)においては、国内総生産(GDP)の過去期間の計数について、通常の改定要因に加えて、8月5日に公表された「建設総合統計」(国土交通省)の遡及改定値¹を反映したことに伴う改定がなされている。このうち、「建設工事受注動態統計」(国土交通省)の不適切処理が是正されたことに伴う「建設総合統計」の改定による影響(以下、建設統計不適切処理是正要因)について、国土交通省より提供を受けた情報をもとに試算した結果は、下表のとおりとなる。

表 国内総生産(名目)の対前年伸び率の改定²

年度	2022年1-3月期 2次QE (改定前)	2022年4-6月期 1次QE (改定後)	改定差 %ポイント	うち 建設統計 不適切処理是正 要因【試算】 %ポイント
	%	%		%ポイント
2018	0.1	0.2	0.1	0.0
2019	0.2	-0.0	-0.2	0.0
2020	-3.9	-3.9	-0.0	0.1
2021	1.2	1.3	0.1	0.1

(※)「改定差」には、建設統計不適切処理是正要因のほか、「建設総合統計」における工事出来高の推計の際の補正に用いられる建設投資額の更新の影響や、「全国企業短期経済観測調査」(日本銀行)の2022年6月調査結果、「企業物価指数」(日本銀行)の2020年基準改定結果の取込み等の影響が含まれる。

¹ <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001494542.pdf>

令和4年6月8日公表の2022年1-3月期GDP速報(2次速報値)において使用していた「建設総合統計」の公表値から、今回公表の2022年4-6月期GDP速報(1次速報値)で使用している遡及改定値にかけては、「建設工事受注動態統計」における不適切処理が是正されたことによる改定要因のほか、直近3か年の工事出来高を推計する際の補正に用いられる建設投資額が2018年度値から2019年度値に更新されたことによる改定要因が含まれる。

² 2018年度については、昨年実施の第三次年次推計では推計スケジュールの関係で反映していなかった「建設総合統計」における建設投資額の2017年度値から2018年度値への更新を今回反映しているほか、供給・使用表(SUT)の枠組みを活用したコモディティ・フロー法と付加価値法等の推計値の統合を改めて行ったことによる改定要因が含まれる。